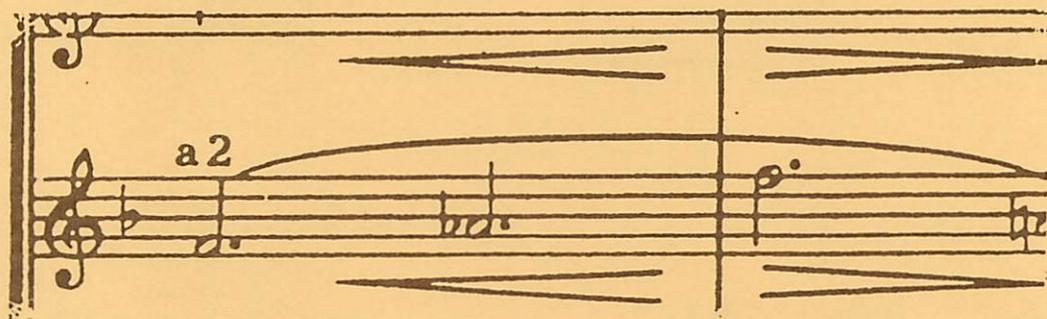
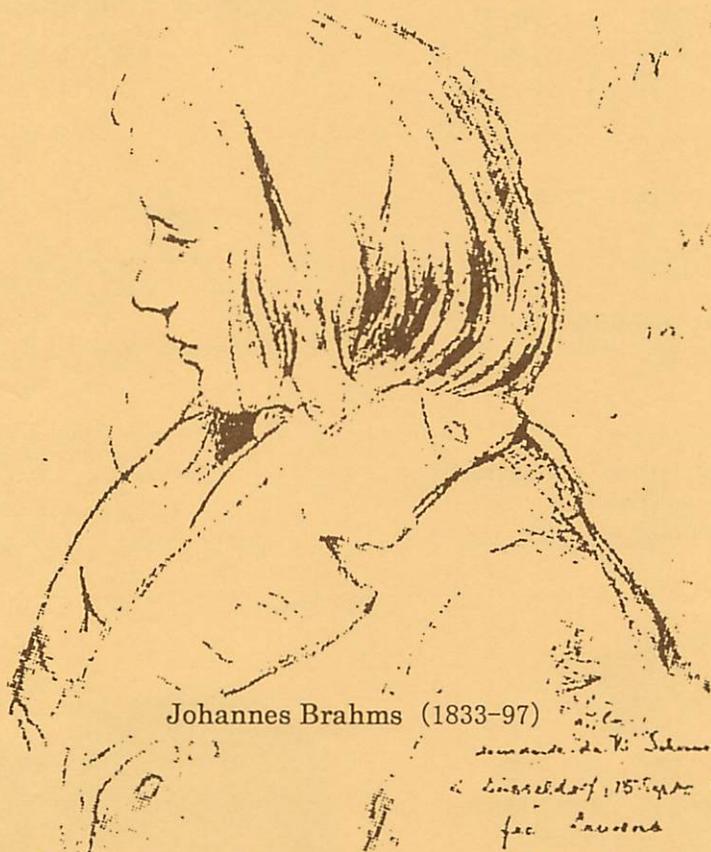


Philomusica Orchester Kyoto

∞ X.Konzert ∞



Frei aber Froh



Johannes Brahms (1833-97)

*Sammlung des Ki. Symphoniker
in Linzendorf, 15. Sept. 1883
fac. Laurons*

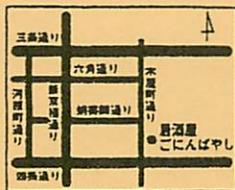
13. Jänner 2002



4~100名 宴会受
中・木屋町四条上ル
☎(075)221-3517

ごにんばやし

PM 5:00~深夜12:00
(土・祝日前~AM 2:00)



都ホテル・新都ホテル専属

岐陽館

小林祐史写場

(駐車場有り)

〒604-0991 京都市中京区寺町通丸太町下ル

電話 (075) 231-1471

FAX (075) 231-1471

印刷のことなら

大地社

〒602-0858

京都市上京区河原町通荒神口上ル二筋目東入ル

TEL (075) 231-1727代

FAX (075) 256-4604

合宿・研修に、ぜひどうぞ!!

びわ湖 千鳥荘

滋賀県滋賀郡志賀町南浜 403

Tel/Fax (077) 594-0035

サークル合宿・ゼミ旅行・スキーに
海外旅行まで、全てお任せ下さい

面倒な施設の予約から交通機関まで
一切の手続きを代行致します。



日本教育旅行株式会社
京都府知事登録国内旅行業第2-6号

お問い合わせは…

TEL.075-351-0405 FAX.075-371-7739

フリーダイヤル 0120-040-566

e-mail fwnet@nyc.odn.ne.jp

花とコーヒー

カンパニエラ
Flower and Coffee

Open 8:30am-8:00pm

Holiday Wednesday

Tel./Fax. 075-951-0362

長岡京市天神1丁目1-4 阪急長岡天神駅前

香雲

ミニコンサート2002 IN 大原

三千院や未公開寺院などの会場を使用し、
毎週金~日・祝に生演奏を行ないます。

音楽と自然の音

そして香りが織りなすヒーリング世界に
皆様をお招きいたします

*このイベントの売上金の一部
は、昨年5月に焼失した寂光院
の義援金に充てられます。

お問い合わせ先:

PLANNING OFFICE PRO-SHIP
TEL/FAX:075-811-9120

Violin Shop

VIOLIN VIOLA CELLO & BOW 販売・製作・修理・調整

渡辺弦楽器工房

京都市中京区高倉町上ル福屋町728-4 〒604 ☎075-211-0116

西宮市大井出町7-23 〒662 ☎0793-70-2005

FAX 0793-70-2009

ごあいさつ

芸術とは何か。ある人は「芸術とは、ある素材を用いて、それとはまったく違ったものをつくりあげることである」と表現したそうです。音楽に限らず文学、絵画、彫刻、演劇など多くのものが素材を必要とします。しかしそれらは人の手によって芸術につくりあげられるとき、もとの材料とはまったく違った何かにかわってしまうというわけです。きょうご来場のみなさまも、いままでにたくさんの芸術作品に触れたなかで、材料の寄り集まりからそれが芸術に変化する瞬間を体験したかたもおられるのではないのでしょうか。

私たちフィロムジカ管弦楽団のメンバーもその瞬間を求めて日夜練習に励んでいます。きょうの演奏のなかで、単純な音の集まりではない何かを感じていただければ、私たちにとってこれほど嬉しいことはありません。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

京都フィロムジカ管弦楽団 団長 長岡武志

♪♪

京都フィロムジカ管弦楽団

第10回定期演奏会

—PROGRAMM—

メンデルスゾーン / 「ルイ・ブラス」序曲

Felix Mendelssohn-Bartholdy (1809-47) / Ouverture zu Ruy Blas Op.95.

モーツァルト / 交響曲第35番ニ長調「ハフナー」

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-91) / Symphonie Nr.35 Ddur K.385 "Haffner"

I. Allegro con spirito II. Andante III. Menuetto IV. Presto

—休憩—

ブラームス / 交響曲第3番ニ長調

Johannes Brahms (1833-97) / Symphonie Nr.3 Fdur Op.90

I. Allegro con brio II. Andante III. Poco Allegretto IV. Allegro

指揮：池田俊

2002年1月13日（日）午後2時開演

京都府長岡京記念文化会館

楽譜協力：トヨタミュージックライブラリ、および兼田博氏個人所有のライブラリ

※携帯電話・ポケットベル・アラーム付き腕時計などの電源は必ずお切りください。

また、客席でのご飲食・喫煙はご遠慮ください。

※写真撮影・録音・録画はお断り申し上げます。

♪♪♪

客演指揮者紹介

池田 俊 (いけだ しゅん)

兵庫県西宮市出身。大阪音楽大学附属音楽高等学校から大阪音楽大学へ進み、トランペットを斎藤広義、金石幸夫両氏に師事。指揮を斎藤秀雄氏の指揮法教程で研鑽を積む。1970年大阪音楽大学卒業、第40回読売新人演奏会に出演。

その後ドイツのデトモルト国立音楽大学へ留学。室内楽をヨスト・ミヒャエルス、ビリー・ワルター、トランペットをヘルムート・シュナイデント各氏に師事。その間ケルン、ベルリン、ハンブルグ、ハノーバ、デュッセルドルフ、ボン、またフランスのパリ等で演奏活動を行い帰国。

1995年に退団するまで、大阪フィルハーモニー交響楽団で20年以上にわたって首席トランペット奏者として活躍。そのかたわら、大阪シュベルマー金管アンサンブルを主催して指揮とトランペットを兼ね、その演奏活動が認められ、大阪文化祭奨励賞・本賞を受賞。また大阪新音の新星演奏家として選ばれる。

1997年オーストラリアでのブリスベン国際ブラス・フェスティバルに招かれ、クィンズランド音楽院においてマスタークラスでのオーケストラの演奏法やソロの指導と共にコンクールの審査も努める。

1998年、関西フィルハーモニー管弦楽団を指揮して指揮者デビューコンサートを開く。この演奏会で大成功をおさめ、豊かな音楽性をもつ才能ある指揮者！と絶賛され、「神戸っ子」のブルーリボン賞候補に指揮部門でノミネートされる。以来、関西における有能な指揮者として最も注目を集め、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪シンフォニカー、ブルガリア国立室内オーケストラ、広島交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、エウフォニカ管弦楽団、兵庫交響楽団等で指揮。

アマチュア分野においては八尾フィルハーモニー交響楽団、高知大学交響楽団、西宮市吹奏楽団、その他等で客演指揮者として招かれ貴重な存在となっており、今後ますます活躍が期待されている。

大阪芸術大学非常勤講師（オーケストラスタディーの指揮&トランペット）。



クラシックファンの皆様、また京都フィロムジカ管弦楽団ファンの皆様、こんにちは。私は第5回定期演奏会の時に客演指揮者としてこの京都フィロムジカさんで指揮をさせて頂きました。あれから今回の第10回定期演奏会で指揮をすることに対して、感謝とともに、また聴衆の皆様方に対してはこの京都フィロムジカ管弦楽団の成長した姿（演奏）を存分に聴いていただきたいと思っています。

団員たちは何らかの職業、あるいは大学の学生として勉学に励んでいる方々の集まりです。メインであるブラームスの第3番シンフォニーは、管楽器はもちろんのごとく弦楽器はさらにさまざまな苦勞をしいられるシンフォニーとして有名です。さらにモーツァルトのシンフォニーの第35番「ハフナー」は緻密、かつ音色の違いをかもし出すのに大変な曲だと感じています（プロでも大変）。こういった曲を彼らが選曲し演奏するので私としては大変脅威に感じる次第です。

そういったことをふまえて考えてみれば、彼らの努力や音楽に対する考が以前よりはるかに進歩したとしか思わざるを得ません。

私としても出来るだけ彼らの思いを大切に考え、少しでもより良いコンサートになるよう努力しなければならず、聴衆の皆様方に対しては彼らに対してさらなる応援をしていただきたいと思っています。

さらなる飛躍を！！

池田 俊

草々

クラシック音楽の海外公演・国際交流

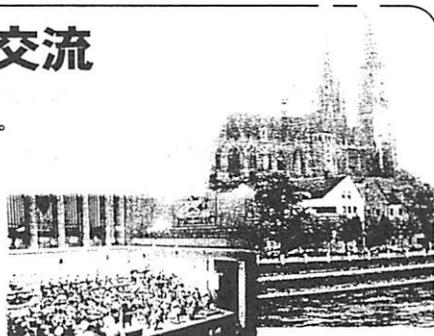
海外での公演・国際交流は、現地でのマネジメントが大切です。

弊社は日本のオーケストラの海外公演・国際交流を、真の意味で成功させて参りました。

海外公演・国際交流のお手伝いはおまかせください。

最近の海外公演実績

- 岡山県桃太郎少年合唱団ドイツ公演98年8月（レーゲンスブルク大聖堂他）
- 同志社大学交響楽団ヨーロッパ公演98年3月（ミュンヘン・ヘラクレスザール他）
- 京都市民管弦楽団ヨーロッパ公演99年5月（ウィーン・ムジークフェライン大ホール他）
- ひこねベルリン第九実行委員会99年12月31日（ベルリン・SFB放送大ホール）
- ルーマニア トゥルグ・ムレシュ パッパ没後250年記念音楽祭 2000年5月（文化宮殿）
- 同志社大学交響楽団ヨーロッパ公演2001年3月（グラーツ・ステファニーザール 他）



ホームページ：<http://www.mitsuma.com/agent/oversea>

協力会社：ルフトハンザドイツ航空会社、全日空、JTB、近畿日本ツーリスト、AIU保険会社

(社) 日本クラシック音楽事業協会会員

(株) ミツマ・ミュージックプロダクツ

〒605-0009 京都市東山区三条通大橋東入ル大橋町102 田中ビル5F Tel.075-761-1213 Fax.075-752-5568

曲目解説

メンデルスゾーン／「ルイ・プラス」序曲

当団のようなアマチュアオーケストラの演奏会では、1曲目にオペラや歌劇等の「序曲」がラインナップされることが非常に多くなっています。これは演奏会の「序」の部分を担当しているからではなく、曲の長さ(10分弱)と適当な盛り上がり(映画の予告編と同様、劇中の“おいしい”部分をメドレーにしたタイプが多いため)がコンサートというスタイルにうまくあてはまるからであると思われます。

そのために劇としてはほとんど上演されず、収録されているCDの数も非常に少ないのに序曲だけがたびたび演奏会に取り上げられるという曲が少なからず存在します。

本日お届けする「ルイ・プラス」序曲もそういった類いの曲です。メンデルスゾーンが29歳頃(1839年)の作品で、気に入らないシナリオであったにもかかわらずスポンサーのカラミ(好条件)のために断るわけにはいかず、序曲だけを3日で仕上げたといわれています。原作はヴィクトル・ユーゴー。1947年には同じ戯曲を元に映画化もなされています(監督：ピエール・ヴィヨン、脚本：ジャン・コクトー)。(Y., F.)

モーツァルト／交響曲第35番二長調「ハフナー」

小川のせせらぎ、波の音、虫の声などにじっと耳を傾けていると心が落ち着いた気分になりませんか。これらの音は連続的であっても音間隔が厳密には一定でなく、不規則にずれています。この音の「ゆらぎ」が私たちに快適さをもたらしてくれるのです。モーツァルトにはこのゆらぎがあり、聴いているうちに心が癒される感じがします。今日はぜひ「癒されて」みてください。

数あるモーツァルトの交響曲のなかでこの曲を選んだ理由は、ひとりでも多くの団員にモーツァルトを体験してもらいたいという願いからです。この曲をはじめ聴く人のために私なりのイメージを各楽章に置いてみました。みなさまはいかがですか。

一楽章：結婚式場 二楽章：サロン 三楽章：舞踏会 四楽章：フィナーレ

(曲目推薦者 Hrn. 長岡武志)

ブラームス／交響曲第3番へ長調

ブラームスが生涯に作曲した交響曲はわずか4曲だが、その4曲いずれも甲乙つけがたい傑作である。さらにブラームスの交響曲が偉大なのは、4曲それぞれが実に異なった個性を持っていることだ。苦悩から勝利へというきわめて劇的なストーリーを持った第1番、自然賛美に満ちた美しい第2番、パッサカリアを導入するなど古典的な形式の枠の中で展開の妙味を見せる第4番。そして、本日演奏する第3番は、ブラームスが最も自分自身に正直に書いた交響曲と言えるかもしれない。冒頭の管楽器の旋律「F（ファ）－A s（ラ#）－F（ファ）」は「自由に、さらに、楽しく（Frei aber Froh）」という言葉から取られたと言われるが、そんなところからもブラームスが自由に思うままに書いた曲であることがうかがえる。

第3交響曲は決して盛り上がらない曲である。爽快感ある大音量も無ければ鳥肌が立つような極限の弱音も無い（チャイコフスキイが *ffff* から *pppppp* までの強弱記号を使っていたのと同じ時代でありながら、ブラームスは *ff* から *pp* までの強弱記号しか使っていない）。4つの楽章はいずれも静かな祈りの音楽で閉じられる。しかしながら、そうした静けさに満ちた外見の裏側に、ブラームスならではの熱い歌が隠されている。

ブラームスは生涯に数多くの歌曲を作曲した歌の作曲家だ。そして、ブラームスが作る歌は決して流麗ではない。どちらかといえば無骨でぎこちない。しかしそれだけに、素朴な力強さと包み隠されていない熱い気持ちとが伝わってくる。この第3交響曲に流れている歌も、そうした素朴で無骨な歌だ。

こうした「静かな祈り」と「熱い歌」というブラームスの真心から湧き出た素材を交響曲にまで昇華させているものは、彼の確かな作曲技術である。第2楽章での、遠くから聞こえてくるような木管の静かなこだまを、第4楽章では最後の審判のラップを思わせる恐ろしげな咆哮に変容させ、それを最後にはおごそかな祈りの歌へと浄化させてしまう途方も無い展開の技術。第1楽章の第1主題を、第4楽章の最後でかすかに匂わせる心憎い工夫。ブラームスの歌の無骨な魅力を一層引き立たせる、ハンガリー舞踊の影響を感じさせる荒々しく癖のあるリズムと、ホルンやクラリネットやチェロの中・低音域を生かした渋い音色。こうしたさまざまな作曲技法がちりばめられ、曲全体が緊密なつながりを持った説得力ある交響曲となっている。

本日は、ブラームスの歌の中に秘められた熱い思いを、私たちの音楽にかける熱い思いに乗せて客席までお届けしたいと思っています。

(Tp. 遠藤啓輔)

アンケートにお答え

～第9回定期演奏会(2001年6月3日)のアンケートから

本日は、京都フィロムジカの演奏会へようこそおいでくださいました。毎回たくさんの方々がアンケート用紙に書いてくださる内容が一方通行にならないための一つの試みとしてははじめましたアンケート回答に対する回答、今回で第2回目になります。前回(第9回定期演奏会 指揮：井村誠貴 マリンバ独奏：永野貴子)でもたくさんの方から激励の言葉をいただき、団員一同感謝の限りです。ぜひ今日の演奏会についてもご意見をお聞かせください。われわれはかならずそのアンケートを読みます。そして可能な限り次回以降の演奏会に活かそうと思えます。

注：総回答数72より抜粋

注：括弧 {} は引用者が追記す。

<演奏について>

<<前回曲目、シベリウス作曲「タピオラ」に関して>>

- 19歳 女性「パンフレットのイメージ(説明)でとても楽しかった」
- 20歳 男性「「目を閉じて・・・」と書いてあったのでホントに目を閉じていたらねむくなって」

その他にも前回曲目のシベリウスについては、「パンフレットは読まなかったが、北欧の森の雰囲気と分かった」「パンフレットのとおり目を閉じたら寝てしまった」という感想がいくつもありました。パンフレットを読んでいただいているのも嬉しいし、読まなくても演奏で伝える事ができたと言っていただけのも嬉しいことでした。

<<前回曲目、クレストン作曲「マリンバ協奏曲」に関して>>

- 60歳 女性「ユニークな奏者、充分に楽しませていただいた」
 - 48歳 男性「初めて聞きました。2000枚になろうとするCDコレクションにもありません。」
- クレストンのマリンバ協奏曲については、アンケートでも大半のかたから好評をいただきました。われわれの選曲のコンセプトは「知られざる名曲を見つけ演奏する」です。この曲のように「初めて聴いたがとても楽しかった。」という意見を聞くととても嬉しくなります。ありがとうございました。

<<前回曲目、ドボルザーク作曲、交響曲第7番に関して>>

- 19歳 男性「座る位置のせいかもしれませんが、チェロとビオラがやや力を欠いていた」
- 21歳 男性「ヴァイオリンがもっと出ても良かった。」
- 24歳 女性「ダイナミックで歯切れの良いクライマックスで良かったです。」

ドボルザークには管弦楽としてのバランスに問題があることを指摘された方が多くいらっしゃいました。これからの演奏会ではもっとしっかり考えていくつもりです。弦楽器のメンバーが少ないこともあり、管楽器のほうがかさやさいホールである事もあって、バランスには苦労しています。

ですから、

- 39歳 男性「ブラIII弾かせてください。」
- 22歳 女性「初心者(Vn)でも入団できるのでしょうか？」

入団希望の方は、どんどん連絡お寄せください。音楽の好きな熱意のある方は大歓迎です。

〈演奏会の進行その他について〉

●29歳 女性「観客席の明かりをもう少し落としてくださると音のほうに集中しやすい」

●29歳 男性「演奏開始のブザーの音が不快です。」

ホールとの打ち合わせで相談してみます。でも、なんともならない場合はどうかご了承ください。すみません。

●45歳 女性「花束を渡す時、いかにも会場の関係者がわたしています、というのは少し考えてみてもいいのじゃないでしょうか？」

?！いえいえ、花束嬢はわれわれ団員かその友達です。「おざなり」にみえたのは、素人故の舞台上の緊張です。でも、今回からは立ち居振舞いについて気をつけるようにしてみます。それでも緊張してたら、・・・

●21歳 男性「JR長岡京からあんなに遠いとは」

●無記名 「ホームページに、(略)演奏される曲の簡単な説明や(略)地図が載っていれば」

演奏会場へくるのに苦労される方が多いと知り、大変恐縮です。今回はチケットに簡単な地図を載せ、ホールへの道中なんか所かに地図入りのポスターを張らせて頂きました。いかがでしたでしょうか？

以上の他にも、演奏に関する厳しい御指摘、企画、選曲へのアドバイス、などたくさんのご意見をいただきました。力不足で今回の演奏会ではその全てに対応できているとは言えないのですが、次回以降の演奏会に向かって改善できること一つずつ対応し、皆様が気分良く演奏会に来ていただき、楽しんでいけるよう努力していきます。これからも京都フィロムジカ管弦楽団をどうぞよろしくお祈りします。



京都市上京区寺町通今出川上ル表町 31

tel : 075-251-0724

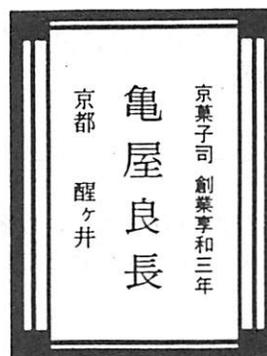
fax : 075-251-0726

定休日 : 月・火

営業時間 : 1:00 p.m. - 7:00 p.m.



<http://www.violin-workshop.com/>



KAMEYA YOSHINAGA
Kyoto Samegai
since 1803

京都フィロムジカ管弦楽団

Philomusica Orchester Kyoto

Konzertmeister

天澤 天二郎

Violinen

天澤 天二郎

飯田 俊也

石田 隆

上田 松子

江口 康子

小幡 拓也

川島 武士

木戸 晶

千熊 由紀子

津田 和子

津田 篤太郎

西村 浩輔

藤本 亜美

吉野 仁子

磯貝 文彦※

井上 史※

大和田 健介※

岡田 秋※

佐々木 詩織※

鈴木 純※

中島 円※

播本 亜矢子※

吉田 弘幸※

Bratschen

老川 幸夫

河上 由香里

篠崎 淳

瀬尾 倫代

長谷山 智仁

平石 美緒

松浦 淳司

竹歳 環※

Violoncelle

小野田 税

菊地 涼

小松 正明

多田 進

奥田 真里恵※

星 衛※

Kontrabässe

名坂 美香

井上 ゆか※

山岸 寛志※

吉岡 佳名子※

Flöten

江藤 佳美

逸見 正憲

松村 朋美

Oboen

鈴木 さや子

鈴木 俊哉

Klarinetten

田中 慎一郎

野田 瑠美

宮城 悟

Fagotte

塚田 英城

仙崎 和男※

(Kontrafagotto)

林 美智子※

Höner

芦原 俊平

木下 洋輔

坂口 裕志

長岡 武志

名取 良

安田 聖

吉野 文彦

Trompeten

遠藤 啓輔

渡辺 美智子

Posaunen

宮下 秀行

池田 えり子※

宇佐見 勝也※

Pauken

永野 貴子

中原 登※

※印：客演奏者

顧問

和田 之宏

団長

長岡 武志

副指揮者 柴田 兼

1974年4月21日、京都市生まれ。トランペットを八木茂夫、宮村聡の各氏に師事。1995年より、指揮を佐渡裕氏に師事。オーケストラの指揮者として活躍するほか、滋賀県立びわ湖ホール主催・青少年オペラシリーズなど、オペラの副指揮者としても活動。現在、近衛室内管弦楽団常任指揮者、大阪大学交響楽団トレーナー。滋賀県立びわ湖ホール「青少年オペラシリーズ」音楽スタッフ。

弦トレーナー 吉野 美穂

京都市立芸大卒。ヴァイオリンを木村直子、岸辺百百雄、室内楽を種田直之、河野文昭、久合田緑の各氏に師事。

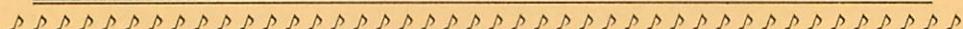
管トレーナー 山崎 雅夫

京都大学卒。京都大学交響楽団金管・打楽器トレーナー。トランペットをC、マクベス、A.ハーゼ、M.アンドレの各氏に師事。

木管トレーナー 片寄 伸也

大阪教育大学卒業。シュトゥットガルト音楽大学、トロッシンゲン音楽大学各大学院終了。現在、フリーランスのファゴット奏者として在阪のオケなどにて客演奏者を務める傍ら、ソロ・室内楽の分野でも活躍中。

京都フィロムジカ管弦楽団からのお知らせ



今後の演奏会のご案内

第11回定期演奏会

2002年6月2日（日） 午後1:00開場 午後2:00開演

京都府長岡京記念文化会館

フランク／交響曲ニ短調

バターワース／シュロップシャーの若者

高田三郎／山形民謡によるバラード

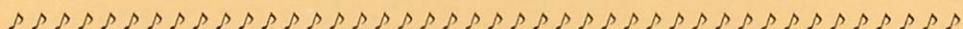
指揮：高谷 光信

第12回定期演奏会

2002年12月8日（日） 午後1:00開場 午後2:00開演

京都コンサートホール（大ホール）

ブルックナー／交響曲第9番ニ短調 ほか



新入団員随時募集中

募集パート：ファゴット、トロンボーン、オーボエ、トランペット

バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス など

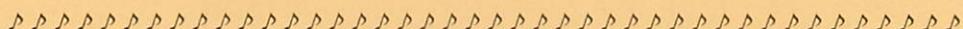
※管楽器はオーディションがあります

※コントラバスは団所有の楽器があるため、楽器に関しては相談に応じます。

詳しくはお問い合わせください

tel 090-8163-4626（フィロムジカ受付用電話）

e-mail philo_recruit@artdam.uji.kyoto.jp



賛助会員随時募集中

フィロムジカの活動に協賛してくださる方を募集しています。

<特典>

年2回の定期演奏会にご招待。

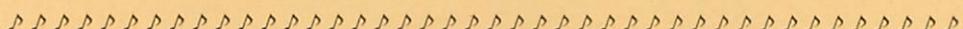
会報にて演奏会などのご案内をします。

その他

<年会費>

個人会員：4000円／1人

Jr. 会員（高校生以下）：2000円／1人



京都フィロムジカ管弦楽団ホームページ

<http://www.artdam.uji.kyoto.jp/philol/>